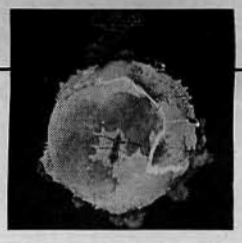
タイム・カプセル——3

Rock Guitar Greatest Hits 12



『こわれもの』
ワーナー・パイオニア
P-8206A

ギター：スティーヴ・ハウ
ベース：クリス・スクワイア
ヴォーカル：ジョン・アンダーソン

採譜・解説：青井カンザブロー

ROUNDABOUT（ラウンドアバウト）

YES（イエス）

Words & Music by J.Anderson & S.Howe

今月で3回目を迎えたこのタイム・カプセル。今回，ここに登場するのはプログレの雄，イエスの名盤『こわれもの』のオープニング・ナンバー「ラウンドアバウト」だ。と言ったところで，若い読者諸君の中にはピンと来ない人も多いだろう。そこでちょっとばかり紹介を加えておこう。

イエスは，70年代前半，怒濤の如く吹き荒れたプログレッシヴ・ロック旋風のビッグ・ワン的存在だが，終盤，なんとなく尻つぼみ気味になったかと思うと，そのまま小さなヒットも出すことなく消えていった悲しいグループのひとつなのだ。

しかし，ギタリストのスティーヴ・ハウや，一時イエスに参加していたキーボードのジェフリー・ダウンズなどは，今を時めくエイジアのメンバーとして，またビル・ブラフォードは，かつてはUK，現在はキング・クリムゾンのメンバーとして活躍していることなどを見ると，やはり，このイエスというグループが，どれほど重要なものだったのかがわかってもらえるはずだ。

当時のブリティッシュ・プログレの勢いには，物凄いものがあり，ブルースを基盤にしたハード・ロックと，クラシックからジャズまで，すべての要素を吸収しようとしていたこのプログレとで，日本のロック・シーンが大きく二分されていたと言っても過言ではない。そんな中で筆者自身，チェット・アトキンス風の「クラップ」やスパニッシュ風の「ムード・フォア・ア・デイ」などといったアコースティック・ギター・ソロまで聴かせてくれたスティーヴ・ハウの魅力には，相当入れ込んでいたものだった。では，ヴァーサタイル（多面的）な音楽性を持ったミュージシャンの集合体でもあったイエスの，おそらくはもっともイエスらしいナンバー「ラウンドアバウト」を見ていくことにしよう。

Guitar

①：12フレットでのハーモニックス。

②：6,3,2弦のハーモニックスが残っているので，すべて1弦だけのフィンガリングだろう。しっかり指を開かないと，なかなかプリング・オフが決まらないはず。ちなみに，スティーヴ・ハウの指は，小指でも普通の日本人の中指くらいあるので，こんなフレーズでもアコースティック・ギターであっさり弾いてしまえるのだ。

③：力強いハンマリングで。

④：クラシカルな奏法だ。低音をピックで，高音を薬指と中指でピッキングするのがオーソドックスな方法だと思う。

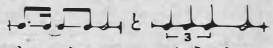
⑤：ハーモニックスを使ったコード・ワークだが，実際には，もっとたくさんの音が聴こえてくる。特に3拍目，5フレットのハーモニックスを聴く限り，レギュラー・チューニングではないだろうと思うのだが……。勉強不足のため，現在のところは譜面どおりに弾けば問題ないということにしておいて，もしチューニング法など解明された方は，お手紙ください。

⑥：1回目は⑤と同じハーモニックス，2～3回目は譜面のように，4回目はベースとのユニゾン・フレーズをエレクトリック・ギターで——という使い分けだ。ライヴだと譜例のような弾き方もしている。参考まで。

⑦：低いポジションなので，しっかり押弦すること。それにしても，どうしてこういうフィル・インを思いつくのだろう。

⑧：5弦の音までとても面倒見きれないという人は，5弦だけ無視して弾いてもいいが，まあ，これくらいはガンバッて弾いてみてはいかが？　小指の特訓にもなることだし。

⑨：いかにもプログレらしいフレーズだ。全員のリズム・ユニゾンになっているので，本来のリズムを見失わないように。最初の2拍を除いて，1拍半1単位のフレーズになっているということが，プレイする上での手がかりになるだろう。

⑩：正確には  の間くらいのリズムになっているようだ。

⑪：これは，16ビートのオルタネート・ピッキングで弾くこと。ライヴでは，キーボードとオクターヴ・ユニゾンでハモッている。

⑫：開放弦をうまく使った，スティーヴ・ハウのバック・ボーンの広さを感じさせるフレーズだ。

⑬：Gのマイナー・ペンタトニックを使ったフレーズだが，ここでも，音のつなぎ方などに彼の個性がにじみ出ている。3拍目までのスタッカートの付いた音は，ピックと薬指あるいは中指でつまむようにしてピッキングしているようだ。

⑭：彼はヴォリューム・ペダルでアタック音を消す奏法をよく使う（いわゆるバイオリン奏法）が，ここもそのひとつ。ただし，4小節目だけは，ハンマリングとプリングをくり返しながら，ポジションをずらしていくことによって，ピッキングのアタック音を出さないようにしている。指の力がなくてはとても弾けないフレーズ。

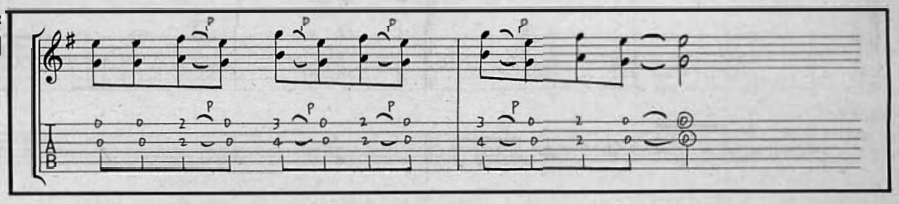
Bass

クリス・スクワイアという人，当時はさまざまなベーシストから，グレッグ・レイク（ELＫ＆P）と共にフェイバリット・プレイヤーとして称賛されていたが，最近はどこで何をしていることやら，とんとゴブサタのよう。ベースにファズをかけたり，やたらトレブルをいっぱいに上げてビンビ～ンと鳴らしてみたり，やはりイエス・サウンドを支える大切な人だっただけに残念。そろそろ，何かどデカイことでもしでかしてくれないかな。プログレ・シーンもまた盛り返しつつあるようだし。

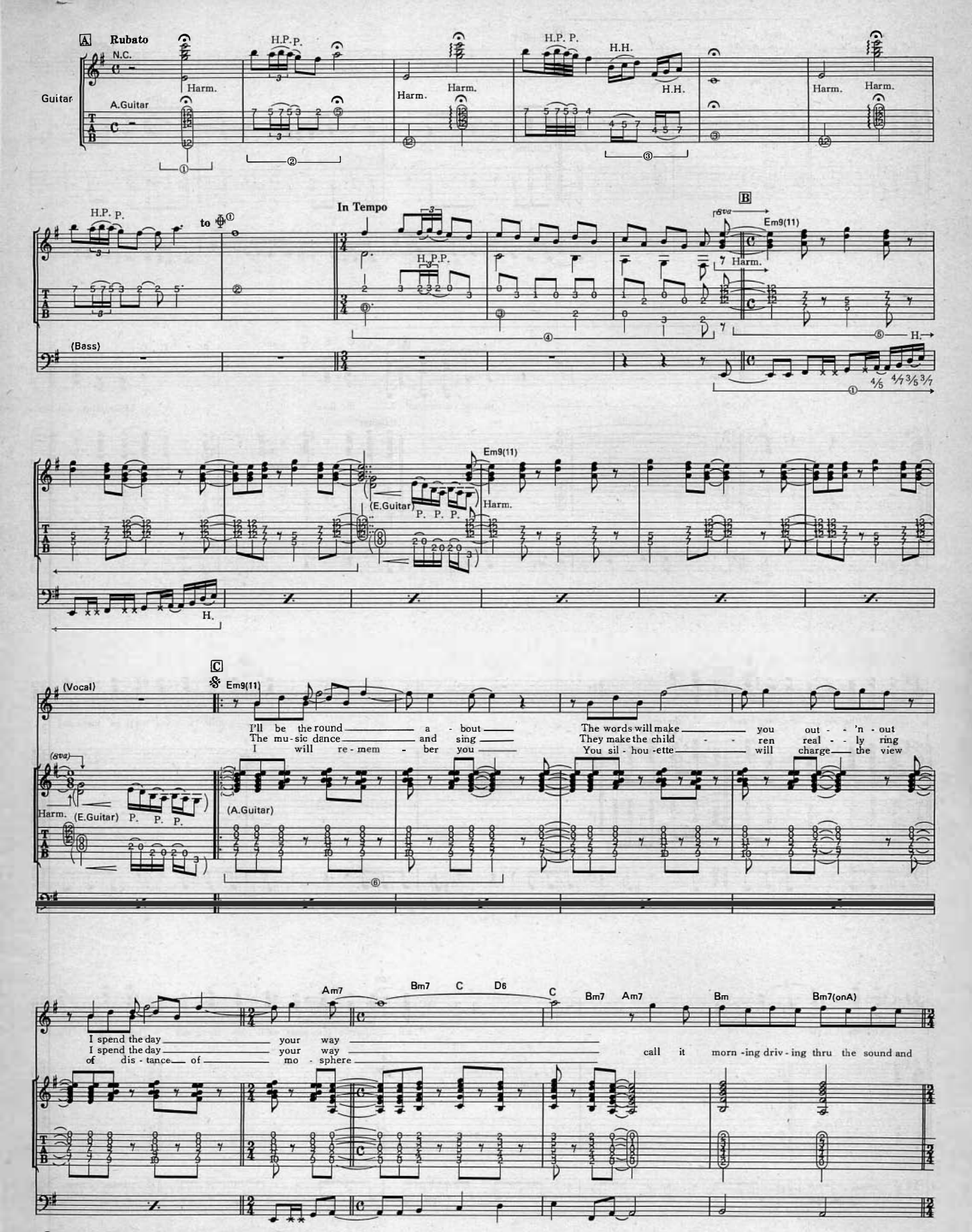
①：ピックで弾くからこそ生き生きしている，この曲の基本パターン。空ピックのバチバチした音もポイントだ。

②：4弦の0～3フレットの間だけで，これだけ飽きさせないというのも大変なことだ。

譜例

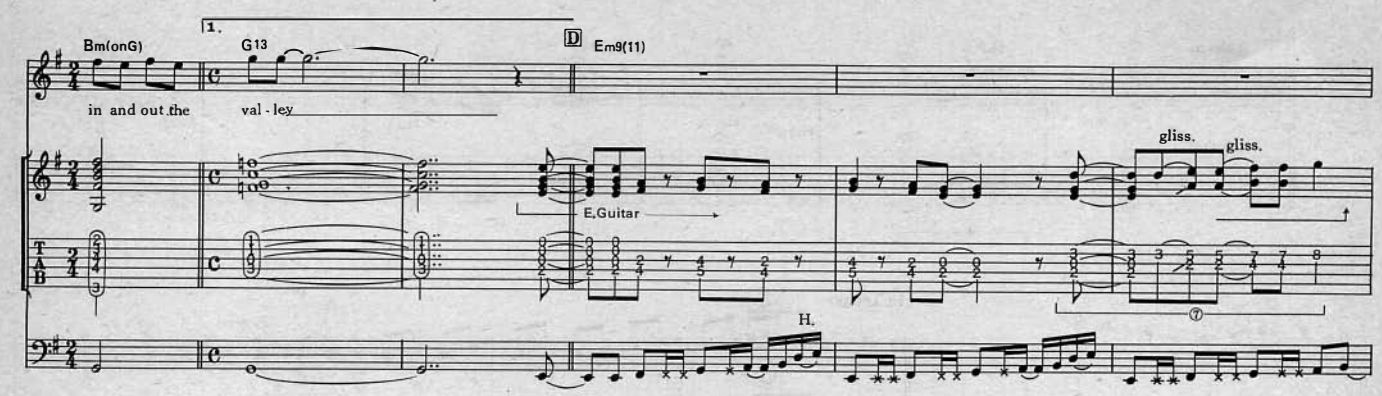


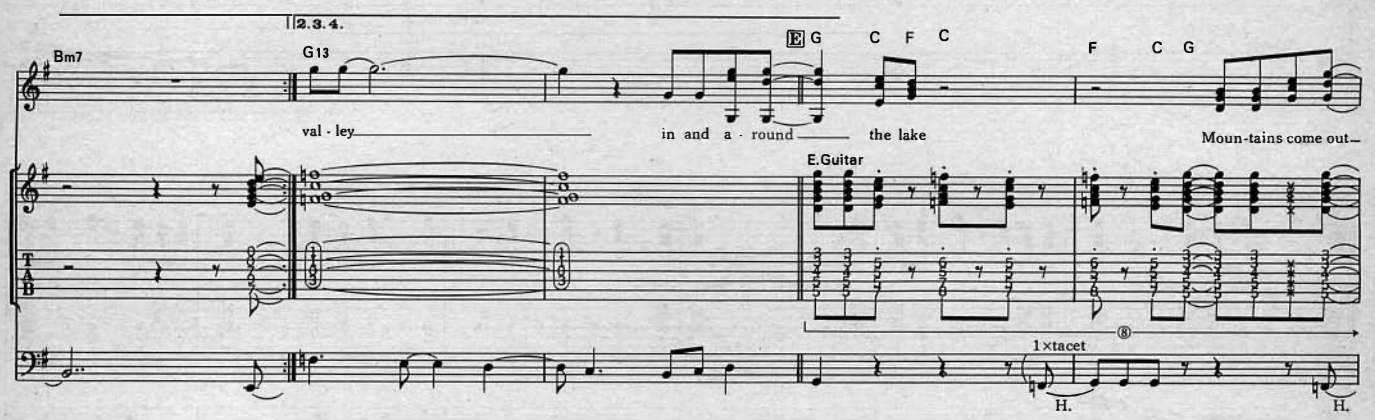
ROUNDABOUT

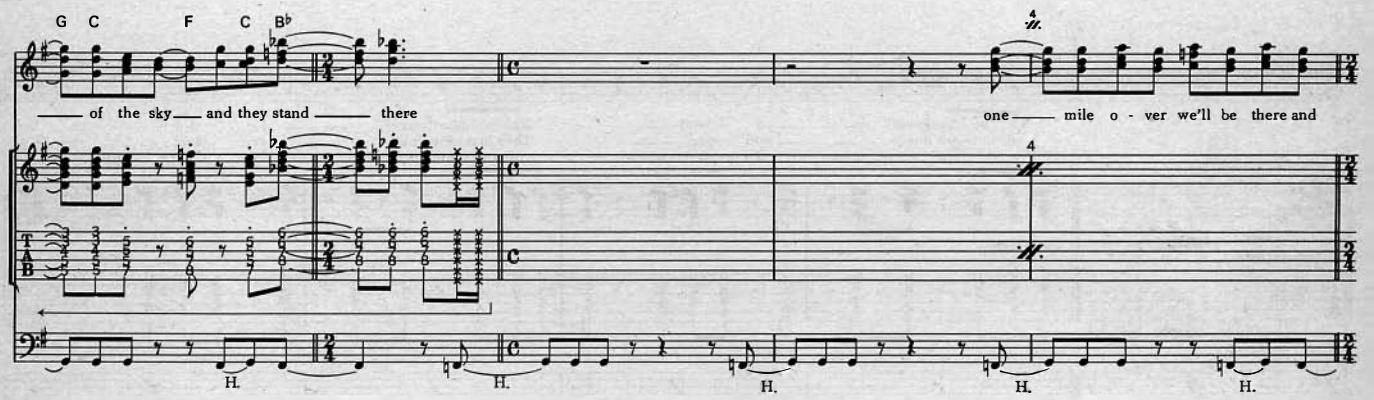


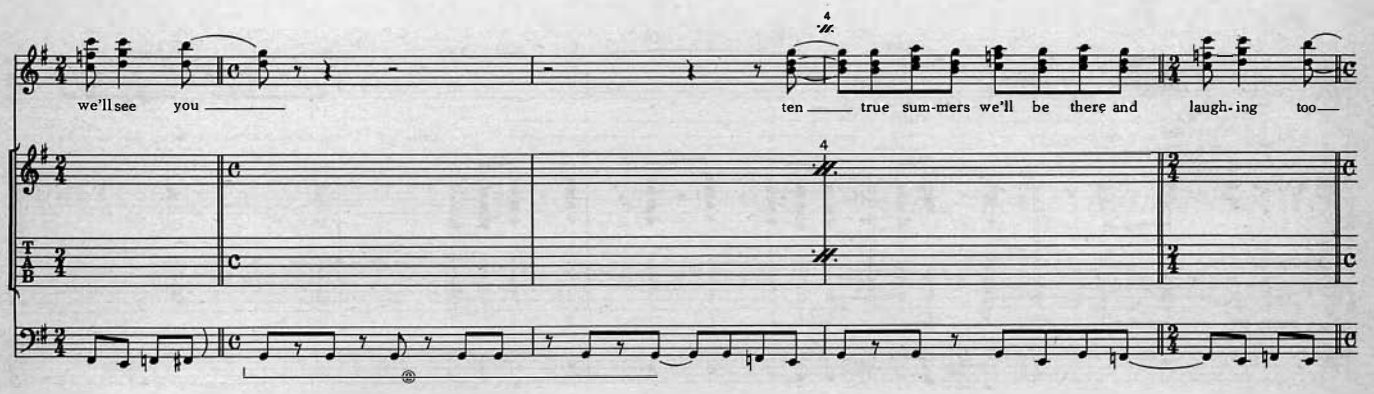
© Copyright 1972 by Rondor Music (London),Ltd. & Yessongs,Ltd. & Topographic Music Ltd.
The rights for Japan administered by WARNER BROS. MUSIC (JAPAN) INC.

YES

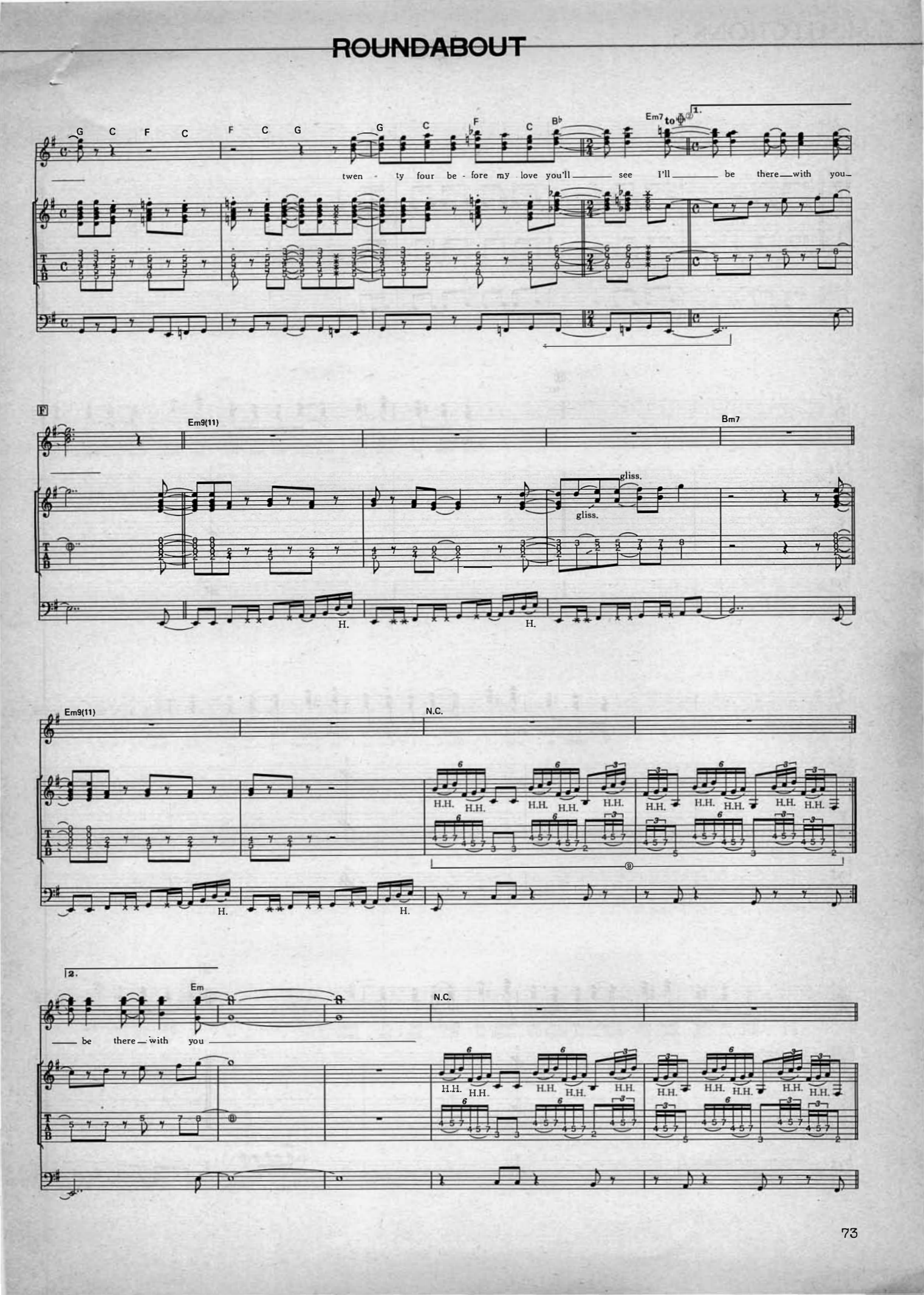

1.
Bm(onG)
G13
D
Em9(11)
in and out the val - ley
E.Guitar
gliss.
gliss.
H.


2.3.4.
Bm7
G13
E
G
C
F
C
F
C
G
val - ley
in and a - round
the lake
Moun-tains come out
E.Guitar
1×tacet
H.

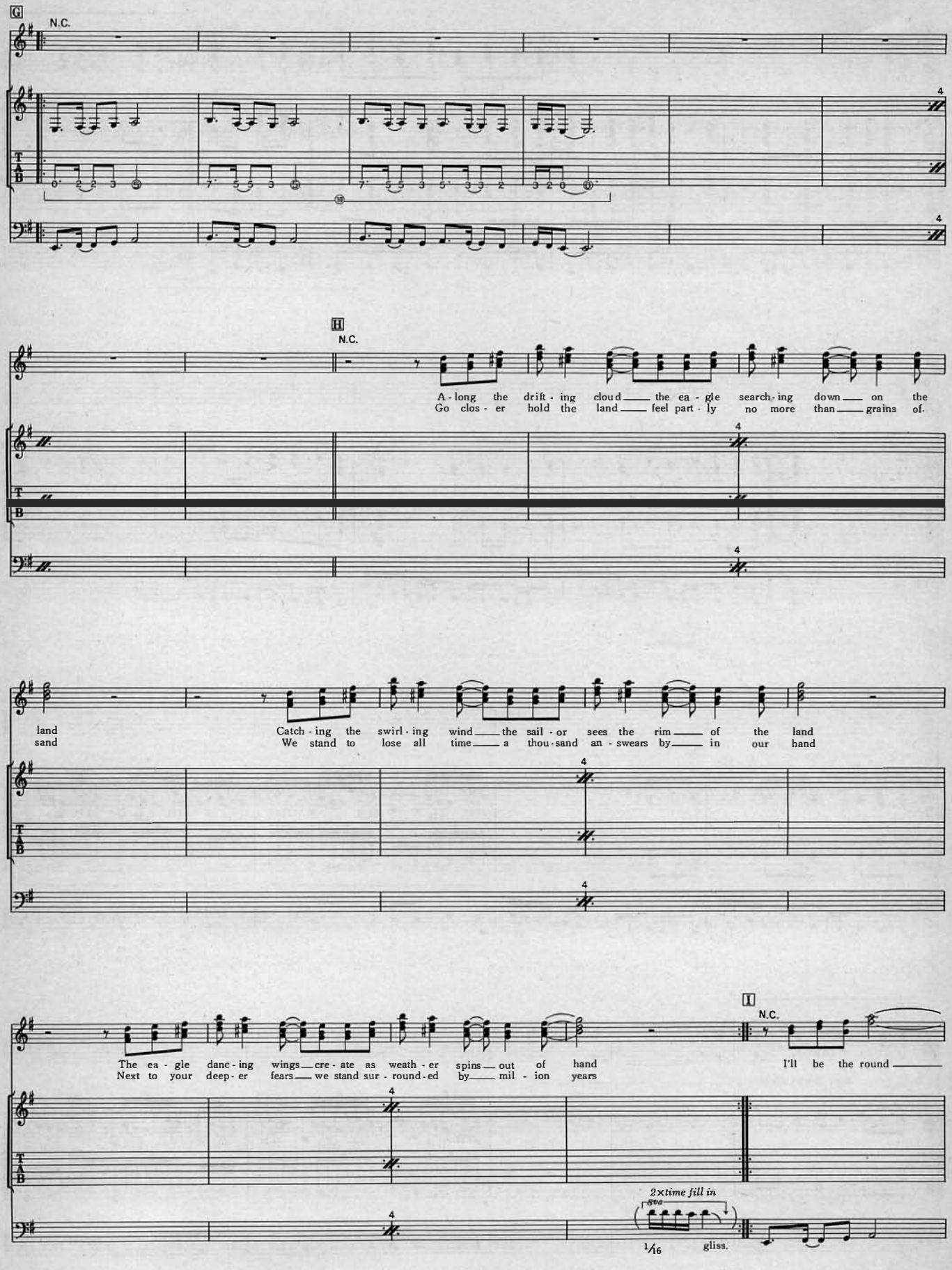

G
C
F
C
B♭
of the sky
and they stand
there
one
mile o - ver we'll be there and
H.


we'll see you
ten
true sum-mers we'll be there and
laugh-ing too

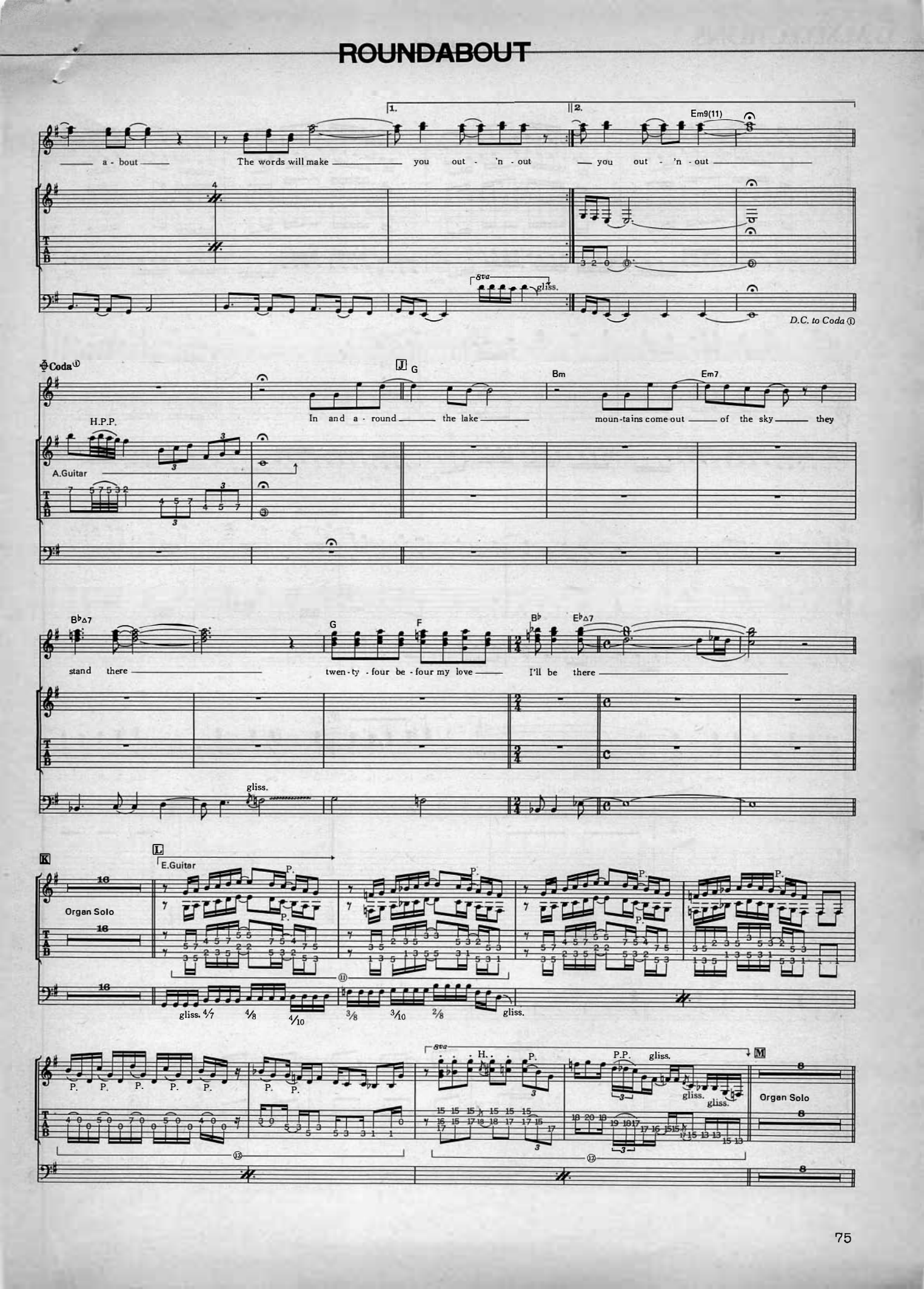
ROUNDABOUT


G C F C F C G G C F C B♭ Em7 to Ⓕ
1.
twen - ty four be - fore my love you'll see I'll be there with you
Ⓕ
Em9(11)
Bm7
gliss.
H.
Em9(11)
N.C.
H.H.
Ⓖ
2.
Em
be there with you
N.C.

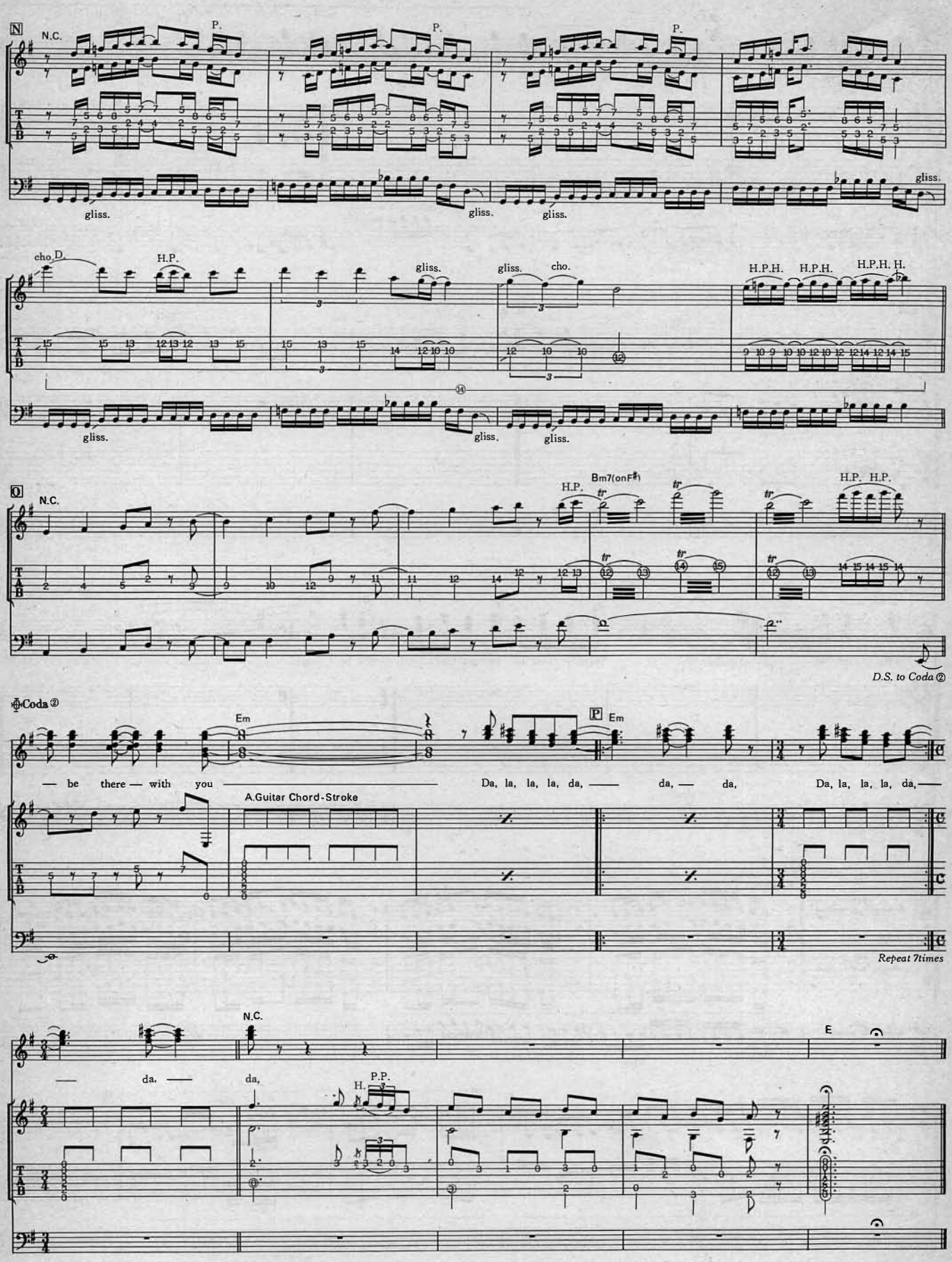
YES


G
N.C.
H
N.C.
A-long the drift-ing cloud the ea-gle search-ing down on the
Go clos-er hold the land feel part-ly no more than grains of
land
sand
Catch-ing the swirl-ing wind the sail-or sees the rim of the land
We stand to lose all time a thou-sand an-swears by in our hand
The ea-gle danc-ing wings cre-ate as weath-er spins out of hand
Next to your deep-er fears we stand sur-round-ed by mil-ion years
I
N.C.
I'll be the round
2×time fill in
8va
1/16
gliss.

ROUNDABOUT


1.
2.
Em9(11)
a - bout
The words will make
you out - 'n - out
you out - 'n - out
8va
gliss.
D.C. to Coda ①
Coda ①
J
G
Bm
Em7
In and a - round
the lake
moun-tains come out
of the sky
they
H.P.P.
A.Guitar
B♭△7
G
F
B♭
E♭△7
stand there
twen-ty - four be - four my love
I'll be there
gliss.
K
L
E.Guitar
Organ Solo
P.
gliss.
4/7
4/8
4/10
3/8
3/10
2/8
H.
P.P.
M
Organ Solo

YES


N
N.C.
P.
gliss.
cho.
H.P.
H.P.H.
O
Bm7(onF♯)
tr
D.S. to Coda ②
Coda ③
Em
be there with you
Da, la, la, la, da,
da,
A.Guitar Chord-Stroke
Repeat 7times
da,
P.P.
E